

コロナ禍でも自宅にいながら旅先や故郷の味が楽しめる

「釜めしご当地」シリーズから

「九州あごだし五目めし」新発売

総合食品メーカー ヤマモリ株式会社（本社：三重県桑名市、代表：三林 憲忠）は、2022年2月21日(月)より「釜めしご当地」シリーズ「九州あごだし五目めし」を全国のスーパーおよびインターネット通販にて発売致します。

■商品概要

商品名	九州あごだし五目めし	
内容量／容器	210g／レトルトパウチ	
希望小売価格	245円（税抜）／ 264円（税込）	
発売日	2022年2月21日（月）	
販売先	全国（スーパー、インターネット通販）	
商品特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●釜めしご当地シリーズの新ラインナップです。 ●九州産焼きあごを使用した、ご当地ならではの炊き込み御飯が食べられます。 ●しっかりとした味付けで、お子様でもおいしく食べられます。 ●筍、人参、こんにゃく、油揚げ、ごぼう、芋茎、きくらげの7種の具入り。 ●1箱で3合用(3～4人前)です。 	

■期待がかかる「炊き込みごはんの素」市場

お米と一緒に炊き込むだけで出来る“おかずごはん”である炊き込みごはは、特に**食べ盛りのお子様のいる家族世帯での支持を厚く受けています**。まぜご飯の素の 카테고리で釜飯・炊き込み御飯（ドライ）の構成比は最も高い29.7%となっており、市場規模は114億円（2020年10月～2021年9月・インテージ社SRI+全国SM計）と、大きな市場となっています。

また、コロナ禍で家庭内での食事の需要が高まっている現状にあります。それに伴い、釜めしの素（ドライ）カテゴリーは**購入経験率がコロナ前と比較し103.6%**（*図1）

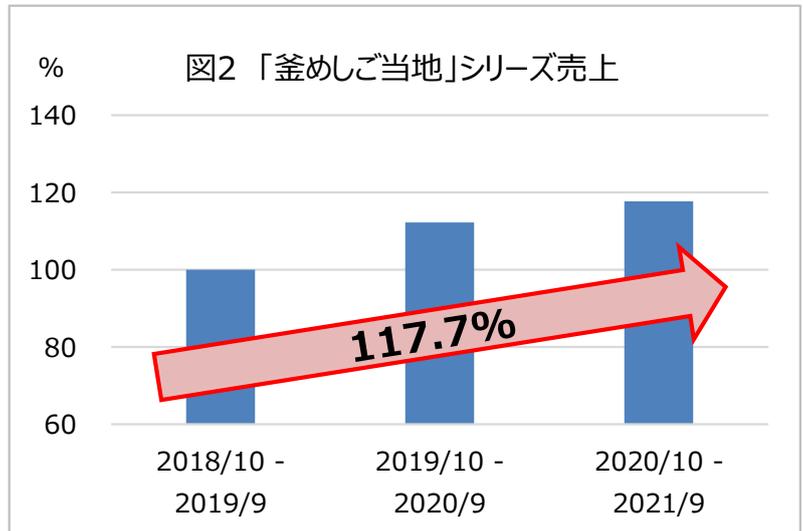
（2020年10月～2021年9月/ 2018年10月～2019年9月比・インテージ社SCI）と増えており、これからも期待のかかる市場です。



■コロナ禍の自粛が続く中、「釜めしご当地」シリーズが好調

当社は1969年に日本で初めてレトルト釜めしの素を発売した元祖メーカーとして、変化に乏しい維持基調の市場に一石を投ずる思いを込め、2015年に九州エリア限定で「釜めしご当地 九州かしわめし」を投入。市場に「**ご自宅にいながらその土地を感じることができる釜めしの素**」という新しい価値を提案致しました。

コロナ禍で自粛が続く中、旅先や故郷の味を楽しめる「釜めしご当地」シリーズのコンセプトが特に好調。シリーズ売上は**コロナ前と比較し、117.7%**（*図2）（2020年10月～2021年9月/2018年10月～2019年9月比・インテージ社SRI+）と、市場での存在価値を高めています。



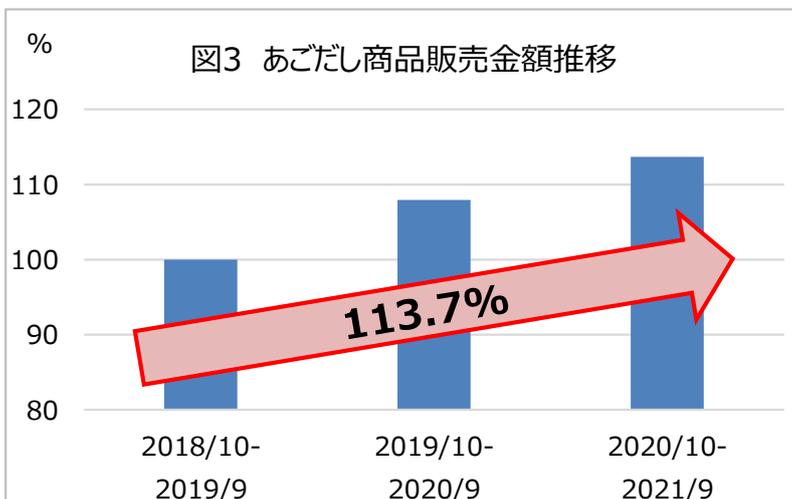
※2018年10月～2019年9月を100と置いた時の比較

■九州で親しまれている「あごだし」使用でご当地の味を再現

この度、好調の「釜めしご当地」シリーズから新たなアイテム「九州あごだし五目めし」を新発売します。

「あごだし」は、「トビウオ」からとっただしのこと、その深い旨みと雑味のない上品な口当たりと香ばしい風味が特徴です。九州エリアだけでなく全国的にも近年注目を集めており、**あごだし商品販売金額はコロナ前と比較し、113.7%**（*図3）（KSP・2020年10月～2021年9月/2018年10月～2019年9月比・商品名に「あごだし」がつく商品）と好調に推移しています。どの年代にも好まれる「あごだし」は家族世帯で支持の厚い炊き込みご飯にピッタリな素材です。

香り高いあごだしをより強く楽しんでいただけるよう、焼きあご粉末を入れています。九州らしい甘さも加え、1品で九州を存分に楽しめるよう仕上げました。



※2018年10月～2019年9月を100と置いた時の比較



<ヤマモリ 釜めしご当地シリーズ>

九州かしわめし・駿河湾しらすごはん・鹿児島黒豚めし・江戸前深川めし


■会社概要

社名：ヤマモリ株式会社

<https://www.yamamori.co.jp/>

本社：三重県桑名市陽だまりの丘6-103

代表者：

代表取締役社長執行役員 三林 憲忠

資本金：4億3500万円

創業：1889年

設立：1951年

従業員：777名 ※パートタイマー含む

事業内容：

 醤油・つゆ・たれ・レトルトパウチ食品・調理缶詰・
 飲料等の製造販売

【本件に関するお問い合わせ先】
ヤマモリ株式会社 広報部

<広報担当> 神門 (じんもん/n_jinmon@yamamori.co.jp)

Phone：090-5119-4632

ヤマモリ株式会社 商品企画開発部

<商品担当> 高元 (たかもと/y_takamoto@yamamori.co.jp)

Phone：090-7694-8603

西山 (にしやま/r_nishiyama@yamamori.co.jp)

Phone：070-7431-1230

※農政クラブ、農林記者会、名古屋経済記者クラブ同時リリースです。